

令和6年度
東京都高等学校体育連盟
弓道専門部必携



顧問ならびに生徒代表は、大会参加の際、
必ず本冊子を持参すること。

東京都高等学校体育連盟
弓道専門部事務局

<http://www.kyudo-tokyo.jp/>
https://twitter.com/kyudo_tokyo

は し が き

この冊子は令和6(2024)年度東京都高等学校体育連盟弓道専門部の行事实施に関する事項をまとめたものです。

各校の顧問の先生はこの必携により大会運営の内容を理解され、生徒の指導に遺漏のないようお願い申し上げます。

とりいそぎ編集しましたので至らぬ点多々あるかと思いますが、今後もこれを基本として逐次積み重ね、よりよいものを作りたいと思いますのでご指導、ご協力の程、よろしくようお願い申し上げます。

東京都高等学校体育連盟
弓道専門部 事務局

目 次

1. 弓道専門部の沿革概要
2. 過去3ヶ年の大会記録
3. 東京都高等学校体育連盟弓道専門部規約
4. 高等学校体育連盟弓道選手登録・大会参加申込手順
5. 令和6年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 大会関係
 - (1) 大会運営申し合せ事項
 - (2) 大会日程
 - (3) 関連大会等
 - (4) 行事予定
6. 令和6年度 東京都高等学校体育連盟主催弓道大会
 - (1) 業務分担表・業務内容
 - (2) 大会実施要項
7. 令和6年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部
 - (1) 役員表・問い合わせ先・組織図
 - (2) 加盟校一覧
 - (3) 大会立順票
 - (4) 選手交代届

弓道専門部の沿革概要

〈沿革概要〉

* 都高体連加盟の頃の状況と藤沢茂兵衛先生*

公式の文書が見当たらないので加盟の運動に参加した市川隆三先生（元日体荏原高顧問）の手書き、高体連事務局長の田代清三郎先生（両国高）の談話、日弓連の三十周年記念特別号、全国高体連の四十年史、全国高体連弓道専門部の弓道二十年史、弓道三十年史を参照して書いてみる。年表にあるように、昭和26年、学校弓道が復活した。

(1) 昭和27年の秋から昭和28年の春と秋に下記の7校が当番校をきめ、リーグ戦形式で練習試合をする。早大学院、慶應義塾、法政第二、目黒、八潮、忍岡、日体荏原（他に高田外語、調布もメンバーに入れる）

(2) 昭和29年春、忍岡高校の弓道部顧問の藤沢茂兵衛先生より高校単位で公私関係なく17校以上まとまれば高体連に加盟して弓道専門部を発足することができるとの相談があった。

都立校は藤沢先生、私立校は市川先生が分担して、参加を督励した。

(3) 昭和29年7月、第1回の相談連絡会を、続いて昭和29年10月31日に発会式を、いずれも日体荏原高で実施。

(4) 高体連の加盟手続は藤沢先生が中心になり軌道にのってからは、八潮高校の河治先生が協力し、昭和31、32年頃の運営実務は河治先生が当った。

以上が設立の事情であるが、藤沢茂兵衛先生については、前記の日弓連の村上久先生が「小遣い銭を全部投入して世話した」と激賞している。勿論私達も先生の死後、昭和49年から52年まで「藤沢賞大会」を設け、その徳を偲んだ。

当時の歴史は改めて調査したいと思っている。（本文は「高体連四十年史」より抜粋）

川又杯について

昭和56年度から平成5年度まで長らく委員長を務められていた川又之裕先生が、平成9年7月に逝去されました。

先生は弓道界とはまったく無縁であったにもかかわらず、その類い稀な行動力で弓道専門部の運営、学校弓道の普及に尽力され、関東個人選手権選抜大会や中学校大会の創設に貢献されるなど、弓道専門部に多くの功績を残されています。

在りし日の先生をご存じの方にもそれぞれの思い出があることと思いますが、弓道専門部では先生の遺徳を偲んで平成10年度に川又杯を新設しました。（日体荏原高 篠原清三郎）

年度	部長	記事
S 20		11月 文部次官通牒により武道の授業中止となる
S 21		11月 大日本武徳会解散命令
S 24		5月 日本弓道連盟結成される
S 26		7月 文部次官通知により学校における弓道の実施許可される
S 27		2月 文部省主催「学校弓道講習会」開催（会場は皇居内済寧館） 弓道指導の手引き刊行
S 30		全国高体連に弓道専門部設置
S 31		東京都高体連に弓道専門部設置
		8月10日 全国代表者会議 事務局長に藤沢茂兵衛
		8月11・12日 第1回全国高校弓道大会（甲府市県営弓道場）
S 36		第5回関東大会（新宿区区営弓道場）
S 37		第6回関東大会 個人女子の部 優勝（都立八潮）
S 40		第9回関東大会（東京都駒沢オリンピック公園弓道場）
S 41		第10回関東大会 団体男子の部 優勝（國學院久我山）
S 42	石塚智一（桜水商業）	委員長：大野惣次郎（桜水商業）
S 43		6月 都連と協議会
S 44		第13回関東大会 個人女子の部 優勝（頌栄女子学院）
		10月 長崎国体出場（総合5位）國學院大學久我山高校
S 45	羽山正二（桜水商業）	8月 第1回全国教職員大会（伊勢）
S 46		第1回個人選手権大会（毎日新聞社後援）
S 47		6月 第16回関東大会（駒沢体育館） 個人男子の部 優勝（城北学園） 個人女子の部 優勝（都立三田）
S 48	吉田繁隆（桜水商業）	次年度より参加料（個人 400円）
S 49		藤沢賞大会
S 53	西山 正（桜水商業）	大会会場が明治神宮至誠館になる
S 55		6月 第24回関東大会（多摩スポーツ会館弓道場） 個人男子の部 優勝（國學院久我山）
S 56	荒川 潤（両 国）	委員長：川又之裕（両国）
S 57	羽部英二（両 国）	9月 第1回関東高校弓道個人選手権選抜大会（至誠館） 1月 第1回全国高校弓道選手権大会関東地区予選会（浜町弓道場） 3月 第1回全国高校弓道選手権選抜大会（至誠館）
S 58	諏訪部憲一（館 国）	3月 第2回全国高校弓道選手権選抜大会（至誠館）
S 59	斉藤 克（芝 商 業）	11月 第3回関東高校選抜大会 第3回全国高校弓道選手権選抜大会（至誠館）
S 60		1月 第1回東京都中学校弓道大会（日本大学弓道場）
S 61	大滝和一（忍 岡）	12月 東京都中学校高校教員研修
S 62		6月 第31回関東大会 団体男子の部 優勝（日体荏原）

年度	部長	記事
S 62 S 63	大滝和一 (忍 岡)	7月 第25回 関東大会 (至誠館) 6月 第32回 関東大会 (至誠館)
H 1	加藤正春 (日体荏原)	9月 東京武道館 個人女子の部 優勝 (忍岡)
H 2		9月 関東個人全体的優勝 (國學院久我山)
H 3		8月 都総体 第35回 旗杯 個人男子の部 優勝 (早稲田実業)
H 4	鈴木 渉 (芝浦工大)	9月 関東個人全体的優勝 (早稲田実業)
H 5		3月 第10回 全国高校弓道選抜大会 (至誠館)
H 6		3月 弓道専門部 必携作成 弓道選抜大会 (至誠館)
H 7		3月 第11回 全国高校弓道選抜大会 (至誠館)
H 8		9月 関東個人全体的優勝 (北多摩)
H 10	田中直日 (國學院久我山)	3月 第12回 全国高校弓道選抜大会 (至誠館) 委員長：田中直日 (國學院久我山)
H 11		3月 第13回 全国高校弓道選抜大会 (至誠館)
H 12		9月 第14回 関東選手権大会 (至誠館) 団体男子の部 優勝 (日体荏原)
H 14	川福基之 (國學院久我山)	2月 第1回 親善交流団がアメリカへ派遣される
H 15	村井信彦 (明 正)	3月 第14回 全国高校弓道選抜大会 (至誠館) 個人女子の部 優勝 (國學院久我山)
H 16		6月 第40回 津秀章 (目白学園) 個人女子の部 優勝 (國學院久我山)
H 17		9月 第42回 関東大会 又杯新設 個人男子の部 優勝 (國學院久我山)
H 18		6月 第43回 関東大会 個人女子の部 優勝 (都立八潮)
H 19		9月 個人女子の部 優勝 (駒沢女子)
H 20		10月 第2回 親善交流団がフランスへ派遣される
H 21		3月 第20回 全国高校弓道選抜大会 (至誠館第二弓道場)
H 22		9月 関東個人全体的優勝 (吉祥女子)
H 23		3月 第22回 全国高校弓道選抜大会 (至誠館第二弓道場)
H 24		6月 第48回 関東大会 (至誠館第二弓道場)
H 25		3月 第23回 全国高校弓道選抜大会 (至誠館第二弓道場)
H 26		委員長：杉山浩司 (科芸学園)
H 27	白井 勝 (吉祥女子)	9月 関東個人女子の部 優勝 (吉祥女子)
H 28	野中英雄 (目白研心)	9月 関東個人男子の部 優勝 (早大学院)
H 29		委員長：神津秀章 (目白研心)
H 30		9月 関東個人女子の部 優勝 (吉祥女子)
H 31		3月 全国選抜大会 女子の部 団体優勝 (慶應義塾女子)
H 32		9月 関東個人女子の部 優勝 (吉祥女子) 女子1～3位独占
H 33		2月 学年別大会 替え、遠的大会を創設 (至誠館第二弓道場)
H 34		6月 第55回 日本東大震災の至誠館第二弓道場 (小金井公園弓道場)
H 35	野口敏朗 (東)	6月 第56回 関東大会 (至誠館第二弓道場)
H 36		8月 第43回 全日本教職弓道選手権大会 (至誠館第二弓道場)
H 37		10月 国体遠的競技 女子の部 4位入賞
H 38		委員長：柏木浩之 (東)
H 39		9月 関東個人男子の部 優勝 (早大学院)
H 40		9月～10月 第68回 国民体育大会 (スポーツ祭東京)
H 41		弓道競技 (小金井公園弓道場)
H 42		3月 遠的大会 大雪のため近的に変更 (東京武道館特設弓道場)
H 43		8月 全国総合体育大会 (東京武道館特設弓道場)
H 44		9月 関東個人女子の部 優勝 (文大杉並)
H 45		9月 関東個人女子の部 優勝 (文大杉並)
H 46		3月 遠的大会 強風のため近的に変更
H 47	余湖浩一 (東)	10月 国体遠的競技 男子の部 5位入賞
H 48		12月 第35回 全国選抜大会 個人女子の部 優勝 (東)
H 49		委員長：松崎一 (芦花・R1より翔陽)
H 50		12月 創立60周年記念祝賀会 (宝仙学園)
H 51		第36回 全国選抜大会 個人女子の部 優勝 (桜修館)
H 52	榎 茂喜 (翔 陽)	10月 国体遠的競技 女子の部 優勝
H 53		7月 第57回 関東教職員弓道大会 (東京武道館)
H 54		9月 関東個人女子の部 優勝 (慶應義塾女子)
H 55		10月 国体遠的競技 男子の部 準優勝
H 56		12月 第38回 全国選抜大会 団体男子の部 優勝 (芦花)
H 57		R 2 以下、新型コロナウイルス感染予防のため中止
H 58		9月 東京都個人選手権大会・関東個人選手権選抜大会・都遠的大会
H 59		公式戦を男女各予選と男女決勝の3日間開催として実施
H 60		R 3 出場校を顧みず各予選と男女決勝の3日間開催として実施
H 61		R 4 8月 紫難旗全国遠的大会 優勝 (日体大桜華)
H 62	平野康弘 (明星学園)	8月 全国総合体育大会 個人男子の部 優勝 (早大学院)
H 63		10月 国体遠的競技 男子の部 8位入賞
H 64		12月 第42回 全国高校弓道選抜大会 (東京武道館 大武道場)

過去3ヶ年の記録（男子）

大会名	種目	順位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
関東大会 東京都予選会	団体	1位	東海大学菅生草属	東修館	東早稲田大学高等学
		2位	東芝浦工業大学	桜声	花
		3位	桜修館	日本体育大学	荏原
		出場権			
関東大会	団体		ベスト16 東海大学菅生	ベスト16 芦花	
	技能優秀個人				
都総合体育大会 (インターハイ予選)	団体	1位	美原	桜修館	早稲田大学高等学
		2位	桜修	東海大学菅生	東
		3位	井原	東	美原
	個人	1位	佐々元海(美原)	宮川瑛太郎(桜修館)	佐藤蒼(早稲田大学高等学院)
		2位	山口暖生(桜修館)	森田千博(東)	奥村元紀(早稲田大学高等学院)
		3位	山相良賢悟(井草)	檀上真大(城北学園)	岡部晴來(東海大学)
		4位	田中恒成(芝浦工業大学附属)	原田連久(早稲田大学高等学院)	布谷孝太郎(東京成徳大学)
		5位	吉田一(江戸川)	市川翔(江戸川)	矢島柚希(東)
6位	宮野遥(立正大付属立正)	田中海斗(國學院久我山)	阿部直樹(井草)		
7位	光武総一郎(海城)	川口瑛司(城北学園)	高阪直樹(早稲田実業)		
8位	-	永吉優人(美原)	松本竺士(東)		
インターハイ	個人		8位 入賞 山口暖生		優勝 佐藤 蒼
東京都個人選手権大会	個人	1位	富沢昇吾(東)	橋爪優祐(井草)	原慎篤(城北学園)
		2位	広末希真(井草)	川上裕也(東海大学菅生)	新島伶唯(海城)
		3位	澁屋太紀(城北学園)	原川慎篤(城北学園)	竹森宇良(翔陽)
		4位	宮川瑛太郎(桜修館)	中村楓(翔陽)	日景崇薫(芝浦工業大学附属)
		5位	机竜正(桜修館)	三國央人(井草)	佐藤蒼(早稲田大学高等学院)
		6位	佐藤大介(井草)	河合優仁(文化大学杉並)	小嶋勇之介(東海大学菅生)
		7位	和田創太(城北学園)	金子子慧(海城)	鈴木陽翔(美原)
		8位	田中海斗(國學院久我山)	金野口靖(佼成学園)	細山優真(佼成学園)
		9位	鎌田有人(八潮)	奥村元紀(早稲田大学高等学院)	横山吉平(城北学園)
		10位	杉本論哉(昭和)	齋藤老拓(美原)	小谷真輝(芝浦工業大学附属)
		11位	志村克也(翔陽)	新島伶唯(海城)	村岡拓哉(東海大学菅生)
		12位	高木琥生(城北学園)	野崎天(翔陽)	吉野銀志(東海大学付属高輪台)
		13位	竹内優乃介(桜修館)	大野貴晴(城北学園)	植田悠太(海城)
		14位	大山匠(昭和)	沢辰正(城北学園)	立山智彬(つばさ総合)
		15位	相沢勇気(芦花)	原田連久(早稲田大学高等学院)	北之和義(芦花)
		16位	山口暖生(桜修館)	加藤權(早稲田大学高等学院)	後藤賢瑛(玉川学園)
		17位	山川悠斗(翔陽)	田中恰熙(早稲田実業)	生田陸登(城北学園)
		18位	澤井悠吾(東海大学菅生)	水越圭吾(錦城)	小川真史(宝仙学園)
		19位	小森雄大(城北学園)	小林洋二郎(江戸川)	波多野大地(佼成学園)
		20位	高井大雅(江戸川)	近藤響(東海大学菅生)	須藤匠海(東海大学菅生)
関東個人選手権選抜大会	個人		4位 田中海斗(國學院久我山) 7位 宮川瑛太郎(桜修館) 決勝進出 鎌田有人・澤井悠吾 準決勝進出 澁屋太紀・山川悠斗	5位 奥村元紀(早稲田大学高等学院) 決勝進出 原慎篤・三國央人 準決勝進出 川上裕也・金子慧 齋藤老拓・野崎天	準決勝進出 小嶋勇之介・鈴木陽翔 細山優真・村岡拓哉
東京都秋季大会	団体	1位	東海大学菅生	井早稲田大学高等学	城北学園菅生
		2位	桜修館	早稲田大学高等学	東海大学菅生
		3位	東	芦花	井草
個人	1位	富沢昇吾(東)	北之和義(芦花)	藤鷹暉士(井草)	
	2位	近藤響(東海大学菅生)	新垣太規(井草)	鈴木陽翔(美原)	
	3位	森田千博(東)	加藤權(早稲田大学高等学院)	高野翼(城北学園)	
東京都新人大会	団体	1位	東修館	東海大学菅生	井東海大学菅生
		2位	東海大学菅生	東	東海大学菅生
		3位	城北学園	城北学園	城北学園
個人	1位	宮川瑛太郎(桜修館)	坂井隼(東海大学菅生)	山田成恩(海城)	
	2位	光武総一郎(海城)	原慎篤(城北学園)	鷹野祐介(東海大学菅生)	
	3位	城北学園	城北学園	東海大学菅生	
東京都遠的大会	個人	1位	井草	井草	東翔陽
		2位	東	東	芦花
		1位	近藤響(東海大学菅生)	原慎篤(城北学園)	小嶋勇之介(東海大学菅生)
		2位	田中海斗(國學院久我山)	新島伶唯(海城)	中島航太(翔陽)
		3位	遠藤佳樹(城北学園)	藤鷹暉士(井草)	芝花遼弥(芦花)
4位	前場友志(芦花)	新垣太規(井草)	小林洋二郎(江戸川)		
5位	新垣太規(井草)	三本菅琴己(芦花)	-		
全国選抜大会	団体		ベスト32 東海大学菅生		ベスト32 東海大学菅生
	個人		準決勝進出(富沢昇吾・近藤響)	決勝進出(新垣太規)・準決勝進出(北之和義)	準決勝進出(高野翼)
東日本大会	3人立		決勝T2回戦進出 東海大学菅生		決勝T1回戦進出 城北学園 決勝T2回戦進出 東海大学菅生
	5人立		決勝T1回戦進出 東海大学菅生	決勝T1回戦進出 東海大学菅生	決勝T1回戦進出 城北学園・井草 決勝T2回戦進出 東海大学菅生
国民体育大会 令和5年から国民スポーツ大会	成績選手名				遠的の部・8位 新垣太規・鈴木陽翔・三本菅琴己・藤鷹暉士

過去3ヶ年の記録（女子）

大会名	種目	順位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
関東大会 東京都予選会	団体	1位	桜 修 館	美 原 東	井 草
		2位	三 東 海 大 学 菅 田	日 本 体 育 大 学 桜 華	桜 修 館
		3位	杉 並 総 合	芦 花	井 草
関東大会	団体		ベスト8 桜修館 ベスト16 東海大学菅生	ベスト16 美原・東	ベスト16 芦花・東
	技能優秀個人		5位 三橋結子(桜修館)	団体：東 個人：白根瑞季(東)	3位 白根瑞季(東) 4位 松瀬天愛(芦花)
都総合体育大会 (インターハイ予選)	団体	1位	美 原 館	東 海 大 学 菅 生	東
		2位	桜 修 東	東	井 草
		3位	東	東	東 海 大 学 菅 生
	個人	1位	松本愛美(美原)	白根瑞季(東)	平内愛梨(東)
		2位	三橋結子(桜修館)	清水常葉(早稲田実業)	落合風香(國學院)
		3位	宮崎梨紗子(東)	金子未依奈(美原)	白根瑞季(東)
		4位	宜保万優(美原)	新田聖奈(芦花)	中村琴音(翔陽)
		5位	梅沢直未(文化学園大学杉並)	山崎あんな(東海大学菅生)	岡部愛依(慶應義塾女子)
個人	6位	工藤結子(桜修館)	倉島愛実(杉並総合)	小林媛依(文化学園大学杉並)	
	7位	倉島愛実(杉並総合)	福原瑠美(東)	小蛇名真結(東海大学菅生)	
	8位	金子有希(美原)	太田典杏(翔陽)	野村広美(東)	
インターハイ	団体			ベスト32 東	
個人				決勝進出 平内愛梨	
東京都 個人選手権大会	個人	1位	キアニ 希花(東)	坂田佳蓮(慶應義塾女子)	小林媛依(文化学園大学杉並)
		2位	堀部加奈(東海大学菅生)	橋本萌花(早稲田実業)	岩瀬さやか(井草)
		3位	笹木歩花(芦花)	金子英里香(井草)	高橋知沙(東)
		4位	宮崎梨紗子(東)	高野あすか(玉川学園)	鳥羽美衣(芦花)
		5位	松本奈央子(慶應義塾女子)	平内愛梨(東)	小早川瑛美(日本体育大学在原)
		6位	清水花帆(東海大学菅生)	白根瑞季(東)	北村詩音(江戸川)
		7位	本間優菜(桜修館)	金子未依奈(美原)	山本菜々子(桜修館)
		8位	雉間愛子(慶應義塾女子)	中山奈津(慶應義塾女子)	林奈那(東)
		9位	小嶋涼楓(田園調布学園高等部)	串間さくら(東京成徳大学)	杉山桜香(芦花)
		10位	小塩紬(吉祥女子)	小嶋涼楓(田園調布学園高等部)	高橋萌(東)
		11位	齋藤亜実(東海大学菅生)	鳥羽美衣(芦花)	白根瑞季(東)
		12位	渡邊菜々美(慶應義塾女子)	畠本真菜(東)	小川結(第五商業)
		13位	佐藤心音(芦花)	山縣燦(宝仙学園)	川上佳華(東)
		14位	五十川リン(翔陽)	栗本萌世(芦花)	鈴木美詞(頌栄女子学院)
		15位	臼井裕菜(翔陽)	伊藤早恵(第五商業)	古谷碧(東海大学菅生)
		16位	一宮万里河(東海大付属高輪台)	有坂沙紋(東海大付属高輪台)	花城菜央(芦花)
		17位	緒方翔子(美原)	岡本のどか(吉祥女子)	岡部愛依(慶應義塾女子)
		18位	湯山理央(早稲田実業)	田中幸乃(明星学園)	佐々木美緒(東京女子学院)
		19位	坂井すず(東)	藤田幸花(目黒学院)	近藤生海(芦花)
		20位	三輪優美子(慶應義塾女子)	石川椎那(昭)	小山愛莉(芦花)
関東個人選手権 選抜大会	個人		4位 キアニ 希花(東) 決勝進出 佐藤心音 準決勝進出 清水花帆・小嶋涼楓	準決勝進出 山縣燦・岡本のどか	1位 白根瑞季(東) 5位 山本菜々子(桜修館) 決勝進出 岩瀬さやか・鳥羽美衣 川上佳華 準決勝進出 小林媛依・高橋知沙
東京都 秋季大会	団体	1位	芦 花	東	東 館
		2位	東 女 子	吉 祥 女 子 花	桜 修 館
		3位	吉 祥 女 子	吉 祥 女 子 花	芦 花
個人	1位	宮坂和来(桜修館)	小林萌夏(國學院久我山)	加藤千尋(明星学園)	
	2位	池田桜(井草)	小中村佳伶(頌栄女子学院)	吉村倅乃(井草)	
	3位	新田聖奈(芦花)	小村菜月(東)	梅澤明綾(杉並総合)	
東京都 新人大会	団体	1位	東	吉 祥 女 子 陽	桜 修 館
		2位	翔 陽 花	東	東
		3位	翔 陽 草	東	東
個人	1位	今川桃寧(小岩)	東平夢叶(芦花)	吉玉川(吉祥女子)	
	2位		山田桃子(翔陽)	山田乃愛(吉祥女子)	
	3位			川上佳華(東)	
東京都 遠大会	団体	1位	東	芦 花	桜 修 館
		2位	翔 陽 花	芦 花	桜 修 館
		3位	日 本 体 育 大 学 桜 華	吉 祥 女 子 花	芦 花
	個人	1位	白根瑞季(東)	金子未依奈(美原)	山本菜々子(桜修館)
		2位	笹木歩花(芦花)	白根瑞季(東)	小嶋紬音(芦花)
3位	田中楓乃(翔陽)	平内愛梨(東)	小山田桃子(翔陽)		
4位	金子英里香(井草)	駒崎理子(葛飾総合)	桑原雪菜(東海大学菅生)		
5位	小村菜月(東)	松瀬天愛(芦花)	岡部愛依(慶應義塾女子)		
全国選抜大会	団体			3位 東	ベスト32 桜修館
個人					準決勝進出 (亀山侑華)
東日本大会	3人立		決勝T2回戦進出 芦花		決勝T1回戦進出 桜修館・吉祥女子 決勝T2回戦進出 東
	5人立		決勝T1回戦進出 芦花	決勝T1回戦進出 翔陽 吉祥女子	決勝T2回戦進出 東
国民体育大会 令和5年から国民スポーツ大会	成績選手名			金子未依奈・中村琴音・白根瑞季・金子英里香	

東京都高等学校体育連盟弓道専門部規約

第1章 名称及び事務局所在地

第1条 本専門部は東京都高等学校体育連盟弓道専門部と称する。

第2条 本専門部の事務局は部長または副部長の在任校におく。

第2章 目的・事業

第3条 本専門部は東京都高等学校体育連盟の規約に基づき、関係団体と提携し、高等学校における弓道の健全な発展を図ることを目的とする。

第4条 本専門部は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 高等学校における弓道の指導講習会の開催
2. 高等学校弓道大会の開催
3. 関係団体との連絡
4. その他目的達成に必要な事項

第3章 組織

第5条 本専門部は東京都高等学校体育連盟規約第6条によって組織する。

第6条 本専門部は都内高等学校および中等教育学校後期課程弓道部をもって構成する。

第4章 役員

第7条 本専門部に次の役員をおく。

1. 部長 1名（校長を原則とする）
2. 副部長 若干名
3. 常任委員 若干名
4. 顧問 若干名
5. 参与 若干名
6. 委員 若干名
7. 会計監査 2名

第8条 部長及び副部長は専門部総会において推挙し、東京都高等学校体育連盟理事会の議を経て、会長がこれを委嘱する。

1. 部長は専門部を代表し、会務を総括する。
2. 副部長は部長を補佐し、部長事故あるときは、その職務を代行する。
3. 常任委員は委員の互選により、教職員より選出する。
4. 委員は加盟校の当該クラブ顧問（教職員）、生徒より各1名を選出する。
5. 顧問は長年高等学校体育連盟弓道専門部の業務に尽力し、原則として部長または副部長をつとめた者の中から専門部総会の推挙により部長が委嘱する。顧問は専門部の運営に関し、部長の諮問に応じる。
6. 参与は長年高等学校体育連盟弓道専門部の業務に尽力し、原則として常任委員をつとめた者の中から専門部総会の推挙により部長が委嘱する。参与は専門部の運営に関し、部長の諮問に応じる。

第9条 役員の任期は2ケ年とする。但し、重任を妨げない。補欠によって就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5章 会 議

第10条 本専門部に次の会議をおく。

1. 専門部総会
2. 常任委員会
3. 顧問・参与・常任委員会

第11条 専門部総会は年1回部長が招集し、次の事項について審議する。

1. 決算の承認及び予算に関する事項
2. 事業に関する事項
3. その他重要な事項

第12条 常任委員会は部長が招集し、委嘱された事項及び緊急な事項について審議し処理する。

第13条 顧問・参与・常任委員会は部長が招集し、委嘱された事項及び緊急な事項について審議し処理する。

第6章 会 計

第14条 本専門部の経費は男女それぞれ加盟費10,000円及び寄付金をもってあてる。

第15条 本専門部の予算、決算は専門部総会の議を経て、東京都高等学校体育連盟理事会の承認を得るものとする。

第16条 本専門部と会計年度は、東京都高等学校体育連盟規約に準ずる。

第17条 本専門部の会計業務は会計担当者の所属校におく。

第7章 附 則

第18条 本規約は平成4年4月1日より実施する。

高等学校体育連盟弓道選手登録

選手登録は各校の顧問が責任をもって必ず実施してください。

選手登録は、顧問から選手登録担当者への、選手登録ファイルの提出により行います。今年度の更新登録は昨年度の3月に完了しています。顧問の異動などで引き継ぎがなされていない場合は総会後にお問い合わせください。新入部員による追加登録については下記を参照してください。

なお、**【重要】選手登録を行っていない選手は、都大会への出場資格がありません。**関東大会都予選会は3月中旬の新規提出締切日まで、他の公式戦はそれぞれの大会申込締切日までに選手登録を完了しないと、その公式戦には出場できません。

選手登録ファイル提出期限

(ア) 更新登録

毎年3月中旬です。ここで選手登録をしない選手は、4月の関東大会東京都予選に出場できません。前年度1・2年生データを、新年度2・3年生データとして選手登録してください。中高一貫校は前年度中3生の継続部員を新年度1年生として選手登録してください。**この作業は、前年度顧問が責任をもって行い、新年度顧問に選手登録ファイルを引き継いでください。**

(イ) 追加登録

更新提出（ア）以降のデータの追加は**随時受け付け**ます。データ追加は、提出した選手登録ファイルに追加入力して上書きし、再度提出してください（入力は追加のみとし、**退部者や転出者がいても、削除などは行わないでください**）。

【新入部員特例措置】

新入部員が弓道経験者で、関東大会東京都予選に出場させたい場合には、大会3日前までに（イ）追加提出の要領で選手登録してください。ただし、この特例措置は**新入部員に限り**ます。中高一貫校の継続部員は対象外です。

公式戦（関東大会都予選会を除く）の大会申込締切日までに（追加登録（イ）にて）選手登録を完了しないと、その公式戦には出場できません。

新年度新入部員の選手登録は、都個人選手権申込締切日までに完了してください。

加盟費の納入について

東京都高体連加盟費

- 私立高校・国立高校 ⇒ 男子校・女子校は、各10,000円
共学校は、20,000円
都立高校 ⇒ 東京都が負担するので、各校からの払込の必要なし

全国高体連弓道専門部加盟費

- 都立高校・私立高校・国立高校 ⇒ 男子校・女子校は、各2,000円
共学校は4,000円

【払込用紙・払込期間・領収書の発行について】

- ✓ 必携と一緒に配布した「払込取扱票（払込票兼受領証）」にて4月中にお支払いください。
- ✓ 払込が確認できたものに関しては、領収書を関東大会東京都予選の受付の際に配付します。

東京都高等学校体育連盟弓道専門部 大会運営申し合せ事項

競技については、(公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則に則って運営するが、全国大会等では近年、競技規則にないからと独自の解釈をして、マナーを疑うような行為が多々見られるようになった。

都大会でも、安全・円滑かつ公正に運営され、選手が気持ち良く競技に臨める様、後述する大会実施要項に加え、以下のことについても協力をお願いしたい。

1. 顧問の役割

顧問は所属生徒(選手・係・応援者など)について、弓道専門部必携を熟知の上、十分に指導・監督して、一切の責任を負うものとする。また、以下の項目を厳守すること。

- (1)選手登録及び大会参加申し込みを行う。
- (2)大会開会式の前に本部席の出席簿に氏名の記入をすること。
- (3)打ち合わせに出席し、競技役員として割り当てられた業務に従事すること。
- (4)引率ができない場合は、本部に代理引率者の届けを提出すること(原則として代理引率者も運営に当たる)。

2. 引率・監督について

- (1)引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
- (2)監督は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に加入していることを条件とする。

3. 注意事項

- (1)学校単位で出場ができなくなる事項
 - ①顧問の出席が確認されない場合(確認された時点で出場可)。
 - ②指定場所以外で飲食した場合。
 - ③大会運営上支障のある行為、あるいは高校生として良識に欠ける行為があった場合(控室、中央ホールでのゲーム・トランプ・漫画等)。
- (2)選手が守るべき事項(守らない場合は失権とする場合がある)
 - ①第一控入場時まで、第二控に着席すること。
 - ②行射中に選手同士は声を掛け合わないこと。
 - ③替矢を用意しておくこと。
 - ④試合で着装する弓道衣・袴・足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一する事。
 - ⑤弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一すること。襟付き・ハイネックは、不可とする。
 - ⑥選手は縦15cm×横20cm(A5サイズ可)の白布に学校名・選手姓名を記入したゼッケンを右腰につけること。その際、ゼッケンの左端が体の中央になるようにする。
 - ⑦選手は、立順票を第3控で招集係に渡すこと(立順票を忘れた場合は試合には出られない)。
 - ⑧足袋に水分その他を含ませてはならない。

- ⑨的中の確認申請は矢を抜き取る前に行うこと。矢取り後の申し出は認めない。
- ⑩各自で盗難防止に努めること。(自己管理・自己責任)
- ⑪特別な事情で規定とは異なる服装や行射をする場合は、書面により顧問打ち合わせで本部に届け出ること。
- ⑫会場入場者は下足用ビニール袋を持参し使用すること。
- ⑬飲食は所定の場所でとり、ゴミは必ず持ち帰ること。
 明治神宮：屋外・中央道場2階控室
 東京武道館：中央ホール（遠的場は不可）
- ⑭リボン・ピアス・ネックレス等の装飾品の装着及び化粧品類の使用をしないこと。
- ⑮頭髪は高校生らしい頭髪とし、地毛の脱色・染色等の行為は慎むこと。ただし、特別な事由（疾病等）がある場合は、本部に申し出ること。危険防止のため長い髪は弦に巻き込まれない様に束ね、耳の前に垂らさないこと。
- ⑯男子の胸あての使用は認めないが、道着の下に装着することまでは咎めない。
- ⑰生徒は選手以外、第三控より先に入らないこと。
- ⑱応援は節度をもって肅然と行い、東京武道館では拍手にとどめること。必要以上の大声を張り上げたり、試合の妨げになるような雑然とした言動をしないこと。また、**観客席での飲食・フラッシュ撮影は厳禁とする（度重なる注意にもかかわらず繰り返される場合、該当者の関係先を確認し、出場停止等の措置を採る場合もある）。**
- ⑲手首にテーピング、サポーターの使用は禁止する。サポーターの使用は、手首以外の使用については認める。色は、白・黒・紺・ベージュの単色無地とする。
- ⑳弓道衣の袖をまくったり、折り曲げたりしないこと。
- ㉑入場口でのチームへのかけ声や退場口付近での対戦チームへの挨拶等で大音量の発声をしてしないこと。
- ㉒危険防止のため射技未熟の者は大会に参加させないこと（参加の可否は顧問の責任において判断する）。また、**参加した選手の行射が危険であると本部で判断した場合は、進行係等が行射を止め、退場させる場合もある。**
- ㉓ストッキングは素足と考えソックスを履くこと。
- ㉔矢摺籐の長さは6 cm以上で目印などをつけてはならない。また、籐の欠損は危険防止のため、事前に巻きなおしておくこと。一部巻き直しは認められない。籐の一部にテープなどが張ってあるときは目印になるのではがしておくこと。籐に目印があると認められた場合は矢摺籐全面をテープで巻くので注意すること。
- ㉕大会会場の最寄駅改札付近で待ち合わせをしないこと。
- ㉖生徒は勿論のこと、顧問・引率責任者・監督・コーチであっても異性の控室への入室は厳禁とする。
- ㉗東京武道館の和研修室のうち、手前2つは係生徒の食事及び休憩場所とする。
- ㉘明治神宮の会議室は、顧問の控室として開放するが、係生徒の食事及び休憩場所も兼ねる。

競技結果（記録）等の取り扱い

- (1)本専門部ホームページを通じて公開されます。
- (2)都高体連会報、理事会配布資料等に掲載されることがあります。
- (3)本専門部必携、次年度以降のプログラム等に掲載されることがあります。
- (4)競技会場内でアナウンスで紹介したり、掲示したりすることがあります。

肖像権に関する取り扱い

- (1)本専門部が認めた機関が撮影した写真や映像が、関連ホームページ、メディア等で公開されることがあります。
- (2)本専門部の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがあります。

令和6（2024）年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 大会日程

行事名	参加条件	参加費	日時	申込締切	会場	備考
総会	顧問・部長		4月6日(土) 15:00～		都立芦花高校	加盟申込書を提出すること
都総体開会式	男子 女子	早稲田大学高等学院 東	4月13日(土) 15:45～		国立オリンピック記念 青少年総合センター	
関東大会 東京都予選	6チーム以内	1チーム 3,000円	女子予選 4月14日(日) 男子予選 4月21日(日) 男女決勝 4月28日(日) 男女とも 8:30開場	3月8日(金) 必着	明治神宮至誠館 第二弓道場 東京武道館弓道場	団体：入賞3位まで【3位2校】 (上位3校は関東大会出場) 個人：入賞8位まで (上位5名は関東大会出場)
東京都 総合体育大会 弓道競技 (全国総体 東京都予選)	個人 8名以内 (団体出場者5名を含む) 団体 1チーム (5名+補欠1名)	実施要項 参照	団体予選 6月2日(日) 個人・団体 6月15日(土) 男女とも 8:30開場	5月10日(金) 必着	東京武道館 弓道場	団体：入賞3位まで (優勝校は全国総体出場) 個人：入賞8位まで (上位2名は全国総体出場)
東京都 個人選手権大会 (関東個人選手権 大会東京都予選)	参加人数制限なし	1名 1,000円	女子予選 8月21日(水) 男子予選 8月22日(木) 男女決勝 8月23日(金) 男女とも 8:30開場	6月28日(金) 必着	明治神宮至誠館 第二弓道場	入賞20位まで (関東個人選手権大会出場枠は実施要項参照)
東京都 秋季大会 (兼全国選抜大会 東京都予選)	6チーム以内	1チーム 3,000円	女子予選 9月28日(土) 男子予選 10月6日(日) 男女決勝 10月12日(土) 男女とも 8:30開場	8月30日(金) 必着	東京武道館 弓道場	団体：入賞3位まで (優勝校は全国選抜大会出場) (上位3校は関東選抜大会出場) 個人：入賞8位まで (上位2名は全国選抜大会出場) (上位5名は関東選抜大会出場)
東京都新人大会 (3年生不可)	5チーム以内	1チーム 3,000円	女子予選 1月11日(土) 男子予選 1月18日(土) 男女とも 8:30開場	11月29日(金) 必着	東京武道館 弓道場	団体：入賞3位まで【3位2校】 (上位2校(関東開催は3校)は 東日本大会出場) 個人：入賞5位まで
東京都 遠的大会 (3年生不可)	1チーム (3名+補欠1名)	1チーム 3,000円	2月15日(土) 男女とも 8:30開場	1月17日(金) 必着	明治神宮至誠館 第二弓道場	団体：入賞3位まで (上位2校を紫灘旗全国遠的大会に推薦) 個人：入賞5位まで

※2025年度関東大会東京都予選の申し込みは郵送にて2025年3月8日(土)必着で申し込んでください。
※公式戦の運営は原則として出場校顧問によって行う。

令和6(2024)年度 関連大会等

大会名称	日時	会場
第68回関東高等学校弓道大会	公式練習・開会式 競技 6月7日(金) 8日(土) 9日(日)	栃木県 宇都宮市
第62回関東教職員弓道大会	6月30日(日)	山梨県甲府市
全日本少年少女武道錬成大会	7月15日(月)	日本武道館
第69回全国高等学校 総合体育大会	8月3日(土)) 8月6日(火)	長崎県 長崎市
第55回全日本教職員 弓道選手権大会	8月10日(土) 11日(日)	神奈川県 横浜市
特別教員中央審査	8月12日(月)	神奈川県横浜市
第26回紫灘旗全国高校 遠的弓道大会	8月17日(土) 18日(日)	福岡県 久留米市
国民スポーツ大会 関東ブロック大会	8月17日(土) 18日(日)	山梨県 甲府市
第43回関東高等学校 弓道個人選手権大会	予決 選勝 9月14日(土) 15日(日)	明治神宮 至誠館
第79回国民スポーツ大会	10月5日(土)) 8日(火)	佐賀県 佐賀市
第1回関東高等学校 弓道選抜大会	予決 選勝 11月23日(土) 24日(日)	東京武道館
関東高体連審判講習会	12月1日(日)	山梨県甲府市
第43回全国高等学校 弓道選抜大会	12月25日(水)) 27日(金)	三重県 四日市市
関東教職員弓道指導者講習会	令和7年1月18日(土) 19日(日)	千葉県 千葉市
東京武道館杯武道選手権大会	2月11日(火)	東京武道館
都連中高生遠的大会	2月23日(日)	明治神宮至誠館
第24回東日本高等学校弓道大会	3月22日(土)) 24日(月)	山形県 山形市

令和 6（2024）年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 予定表

		2024 年												2025 年		
日	4 月	5 月	6 月	7 月	日	8 月	9 月	10 月	11 月	日	12 月	1 月	2 月	3 月	日	
1	月	水	土	月	1	木	日	火	金	1	日	水	土	土	1	
2	火	木	日	火	2	金	月	水	土	2	月	木	日	日	2	
3	水	金	月	水	3	土	火	木	日	3	火	金	月	月	3	
4	木	土	火	木	4	日	水	金	月	4	水	土	火	火	4	
5	金	日	水	金	5	月	木	土	火	5	木	日	水	水	5	
6	土	月	木	土	6	火	金	日	水	6	金	月	木	木	6	
7	日	火	金	日	7	水	土	月	木	7	土	火	金	金	7	
8	月	水	土	月	8	木	日	火	金	8	日	水	土	土	8	
9	火	木	日	火	9	金	月	水	土	9	月	木	日	日	9	
10	水	金	月	水	10	土	火	木	日	10	火	金	月	月	10	
11	木	土	火	木	11	日	水	金	月	11	水	土	火	火	11	
12	金	日	水	金	12	月	木	土	火	12	木	日	水	水	12	
13	土	月	木	土	13	火	金	日	水	13	金	月	木	木	13	
14	日	火	金	日	14	水	土	月	木	14	土	火	金	金	14	
15	月	水	土	月	15	木	日	火	金	15	日	水	土	土	15	
16	火	木	日	火	16	金	月	水	土	16	月	木	日	日	16	
17	水	金	月	水	17	土	火	木	日	17	火	金	月	月	17	
18	木	土	火	木	18	日	水	金	月	18	水	土	火	火	18	
19	金	日	水	金	19	月	木	土	火	19	木	日	水	水	19	
20	土	月	木	土	20	火	金	日	水	20	金	月	木	木	20	
21	日	火	金	日	21	水	土	月	木	21	土	火	金	金	21	
22	月	水	土	月	22	木	日	火	金	22	日	水	土	土	22	
23	火	木	日	火	23	金	月	水	土	23	月	木	日	日	23	
24	水	金	月	水	24	土	火	木	日	24	火	金	月	月	24	
25	木	土	火	木	25	日	水	金	月	25	水	土	火	火	25	
26	金	日	水	金	26	月	木	土	火	26	木	日	水	水	26	
27	土	月	木	土	27	火	金	日	水	27	金	月	木	木	27	
28	日	火	金	日	28	水	土	月	木	28	土	火	金	金	28	
29	月	水	土	月	29	木	日	火	金	29	日	水		土	29	
30	火	木	日	火	30	金	月	水	土	30	月	木		日	30	
31		金		水	31	土		木		31	火	金		月	31	
											武道錬成	遠的講習会	遠的講習会			

令和6年度大会係分担

◎：各部署代表校

係名	概要	男子校	女子校
運行 3人	競技全体の連携、無線での指示	井 桜	吉祥女子 草 修 館
進行 2人	射場内での選手監督の誘導を行う 競技の進行を行う	東海大高輪台 ※小 岩	◎日体大桜華
招集誘導 5人	公式練習の召集、誘導を行う	◎文 大 杉 並 杉 並 総 合 江 戸 川 玉 川 学 園	海 城 頌 栄 女 子
射場記録 10人	記録用紙に結果を記入し伝達する	◎ 東 日大鶴ヶ丘 昭 和 立 川 国 際 東 京 成 徳 日 比 谷 学芸大学附属 都市大等々力 八 王 子 東 忍 岡	
本部記録 集計・掲示 4人	的中を入力し記録用紙と照合する 公式記録及び速報原稿を作成する	◎東海大菅生 美 原 早 稲 田 実 業 多 摩 大 目 黒	
式典・表彰 1人	準備・司会など	桜 修 館	
入館管理 6人	入館時間の管理誘導 ※領収書の配布 観戦者の移動を促す 選手の速やかな退館を促す	科学技術学園 練 馬 つばさ総合 筑波大附属 晴海総合 三 田	◎東京女子学院
総務 1人	教員・選手・係生徒対応	◎桜 修 館	

※会場の設営は教員全員で行う

各業務内容

競技開始前の係【8：00入館後、速やかに業務に当たる】

◇玄関指導

- 入館開始後の混乱を避けるため、状況に応じて入場規制を行う。
- 靴袋を忘れた生徒及び教員に、ビニール袋を渡すとともに学校名と人数を控える。
- 入館終了後、玄関付近を点検・清掃し本部に入館終了の報告をする。

◇警備

- 係以外の生徒を退館させる。
- 不審者がいた場合は、速やかに本部に報告する。
- 観覧席で円滑な観覧ができるよう誘導し、フラッシュ撮影などには注意を与える。
また、荷物による席取りには注意を与える。
- 選手控室での過剰なスペース確保などに注意を与える。
- 控室に異性が入室しないよう警備にあたる。

◇設営（安土）

- 的を15個つけ、射場ごとに仕切り棒を立てる。
- 的前審判席（射場あたり2脚）と第三射場用に仮設看的表示板を設置する。
- 的前審判席には、○・×札（射場あたり1セット）を置く。

◇設営（射場）

- 机6台（記録5・放送計時1）、椅子49脚（係24・選手15・介添10）、ベル、ストップウォッチ、白旗を用意する。
- 東京武道館では設営（控）と共に放送機器3セット（集合場所・遠的場はマイク同調）に電源を入れ音声が出ることを確認する。
- 立駒を置く。

◇設営（控）

- 集合場所に机1台・椅子3脚・ホワイトボード1台を用意する。また、東京武道館では設営（射場）と共に放送機器を準備する。
- 第二控に椅子15脚・弓立1台・ホワイトボード1台を用意する。
- 第三控に椅子15脚・弓立1台・ホワイトボード1台を用意する。
- 東京武道館では、パーテーションや弓立を用いて中央ホールを仕切る。
- 必要箇所に張り紙をする。
- 東京武道館では、遠的場にブルーシートを設置する。

◇受付

- 領収書の配付を行う（必要書類等があるときは、その配付および回収を行う）。

◇式典司会

- 開会式の呼びかけ放送と司会を行う。

競技中の係【開会式終了後、速やかに競技が開始できるよう業務に当たる】

◇招集

- 集合場所
 - * 招集している立ち順番号をホワイトボードに記入し、出場チームがそろったら第三控に誘導する。
- 第三控
 - * 立順票をもとに学校名・氏名を確認し所定の席に座らせる（弓具点検に備えて素早く行う）。
 - * ゼッケン及び着装の確認を行う。
- 第二控
 - * 立順票を回収し、射場記録に配布する。
 - * 選手に入場を指示する。

◇X (旧 Twitter)

- 注意事項や連絡などをポストする。

◇的・前審判・的・前管理

- 構成・配置

ア) 的・前審判：射場毎に的・前審判と的・審補助を配置する。

- 的・前審判は的中判定及び全的確認を担い、的・審補助は的・前審判の補助を担う。

イ) 的・前管理：射場毎に看的表示と矢取りを配置する。

- 看的表示は看的表示版の操作を担い、矢取りは赤旗・ブザーのコントロール及び、矢取り・矢返し、必要に応じて的替え業務を担う。

1. 業務内容

ア) 開会式後

- 射場にてミーティングを行い、トランシーバーなどを受け取る。
- 持ち場の集合時間やローテーションなどを確認する。

イ) 大会直前 (前射場・後射場それぞれで行う)

❖ 的・前審判

- 的・中表示具が看的の見やすい位置に出せるよう調整する。

❖ 的・審補助

- 射場の選手の動きを把握し、看的の視界を妨げずに的・前審判に的確に伝達できる位置を確認し、調整する。

❖ 看的表示

- 看的表示板の確認を『○』『×』を上から表示するのか下から表示するのかも含めて行う。
- 確認・矢取りの際のブザー及びランプの作動確認を行う。
- 東京武道館では、ブザーを鳴らす・止める担当を、明治神宮では赤旗を出す・しまう担当を決める

ウ) 行射中

❖ 的・中判定 (的・前審判)

- 的から目を離さず「あたり」「はずれ」を判定し、的・前管理【看的】に的・中表示具で『○』または『×』を示す (『失』及び『掃きあたり』の場合も『×』を出す)。○×判定を下せない場合は、『?』を示す (表示具は看的表示板に○または×が表示されるまで表示し続ける)。
- 『掃き中り』及び『?』を示した場合は、トランシーバーで連絡をする。
- 追い越し発射などの失権行為があった場合でも、的・中であれば『○』を表示する (追い越し発射の場合、追い越した選手の的・中は認められないが、追い越された選手の的・中は認められる)。

❖ 判定補助 (的・審補助)

- 射手の動きを見て、「1番、大三、引き分け、会、離れ」のように簡潔に発声し、的・中判定に射手の状況を伝え、的・中判定をサポートする (伝え方は審判員と打ち合わせる)。
- 弦音の後、次の射手の動きを伝える (次の射手が打ち起こせば発声)。
- 『失』の場合は、「1番、矢を落としました」と伝えるなど、射手の様子を伝える。
- 場合によって裏審 (反対射場からの的・中判定) を置く場合もある。

❖ 看的 (的・前管理)

- (自身の判断は持ち込まず) 的・中判定が示した的・中表示具の通りに、明治神宮は下から、東京武道館は上から『○』『×』を表示する。『?』の場合は空白のままにする。
- 射場に射手が揃っていない場合があるので注意する。

エ) 的中確認 (全的確認)

❖ 看的・矢取 (的前管理)

- 看的は、的前審判が全的確認に向かうタイミング (『確認お願いします』のアナウンス) で赤旗や赤色灯にて周囲に注意を促す。
- 矢取りは看的小屋から整然と入場し落的手前に蹲踞で待機する (欠場の射場は矢取りが必要ないため入場しない)。

❖ 的前審判

- 運行の指示で的前の確認に入り、的審補助を介して的中数と看的表示板を確認する。
- 終始、射場や観覧席からの的を遮ることのないよう配慮する。
- 判定補助に向けて、1番的から順に的中数を「第○射場 2、0、4」のように、簡潔に発声するとともに右手の指を立て、的審補助に示す。この際、掃き中りの矢を数えないよう注意する。
- 射手がいない的に関しては「0 (ゼロ)」と発声する。
- 失権になった矢が的中している場合は、全的確認後にアナウンスで失権となり、看的表示板が訂正されるので、全的確認の段階ではありのままの的中数を発声する。
- 射詰競射の際の全的確認は、的中のときは「1」残念のときは「0 (ゼロ)」と発声する。

❖ 的審補助

- 予め看的表示板を確認し、表示されている的中数を把握する。
- 的前から発せられる的中確認の発声と看的表示板が一致する場合は手を挙げ「はい」と発声し確認したことを周囲に示す。
- 一致しない場合は、挙手せずに「○番、もう一度確認して下さい」と伝える。
- それでも一致しない場合は次項『(カ) 判定に確認の必要がある場合』の『✓確認と看的表示板が一致しない場合』に遵う。

オ) 的中判定

❖ 的前審判

- 確認に問題がなければ、その場 (落的に向かって左側あたり) で右手を挙げて射場に示し、射場記録が手 (白旗) を挙げたら手を下げ速やかに引き上げる。

❖ 看的

- 的中確認を終えた的中判定 (的前審判) が審判席に戻り始めると同時にブザーを鳴らし、看的表示板を元に戻す (ただし、競射の場合は射場の選手が退場し始めてから看的表示板を元に戻す)。

❖ 矢取り及び矢返し

- 的中確認を終えた的中判定が審判席に戻り始めると同時に速やかに矢取りを始める。
- 矢取り後、右手で持って左手で矢尻を支え、起立し、できるだけ揃って看的小屋へ退場する。
- すべての矢取りが退場すると同時に赤旗を回収し、赤色灯・ブザーを消す。
- 業務終了後、矢を綺麗に拭いて矢箱に矢返しする。

カ) 判定に確認の必要がある場合

以下の事象が同時に起こった場合は確認作業を行う。優先順位は記載順とする (射場から確認要請があった場合は、何本目かを予め確認する)。的前審判は以下の事象に対応する際、○×表示具を持っていく。

✓射場からの中の確認要請がある場合

❖次項【行射中、『?』を表示させた場合】に準じる。

✓行射中、『?』を表示させた場合

❖ 的前審判

- 全的確認を行う前に、当該の的を確認し、体での的を隠さないように配慮しながら、射場に向かって○×札を掲げ「確認します。第一射場 2 番、3 本目。あたりです」のように発声する (「合計○中です」とは発声しない)。

- ◇看的
 - 的中判定の発声に耳を澄ませ、看的表示板の空白『?』の部分を表示する。
- ◇的審補助
 - 看的が表示板の表示を的確に行なったことを確認し、的前審判に「なおりました」と伝える。
- ◇的前審判
 - 的審補助の『なおりました』の合図で、（隣射場の教員が担った場合は、生徒にバトタッチして自分が担当する射場の業務を行う）1 番的から全的確認を始める（『?』を出した的も再度確認する）。
- ✓ 確認と看的表示板が一致しない場合
 - ◇的前審判
 - ○×を判定し、射場に向かって○×札を掲げ「訂正します。第一射場 2 番、3 本目。あたりです」のように発声する（「合計○中です」とは発声しない）。判定が下せない場合は、他射場の的前審判に応援を乞う。
 - 看的通りだった場合は「確認します。看的表示板の通りです」のように発声する）。
 - ◇看的
 - 的中判定の発声に耳を澄ませ、看的表示板の該当箇所を訂正する。
 - ◇的審補助
 - 看的が表示板の表示を的確に行なったことを確認し、的前審判に「なおりました」と伝える。
 - ◇的前審判
 - 判定補助の「なおりました」の合図で、（隣射場の教員が担った場合は、生徒にバトタッチして自分が担当する射場の業務を行う）「○番から再開します」と的審補助に伝え、訂正した的の次の的から確認を再開する。

2. 遠近競射（順位決定）

的面及びその延長面で、的の中心から距離が近い矢を上位とする（的中>塚>たたき矢>掃きあたり>掃き矢>矢道>矢）が、同位としか判断できない場合、運行（または本部）に引き直しを要請する。

✓ 教員が 3 名 1 組で順位決定を行う。

✓ 配置は下図の通り（ α ・ β は蹲踞）。【 α ・ β ・ γ は適宜割り振る】

✓ 体で的を隠さないように配慮して配置につく。

✓ 公正・迅速を心掛ける。

α ：上位の（中心に近い）矢を右手人差し指で指す（必要に応じて定規などを用いる）。

β ： α が指した矢を確認し、左手で的を押さえ右手で矢を抜き、矢羽根を上にして順位札を本矧の 2 cm 下部付近に、剥がれ難くかつ剥がし易いように貼付して審判員 γ に手渡す。

γ ： β の抜いた矢を左手で受け取り、矢羽根を上にして矢の中ごろを持つように、右手に持ち替え正面に出す。次の矢は、上位の矢から順次 10cm 程度ずらして持つ。

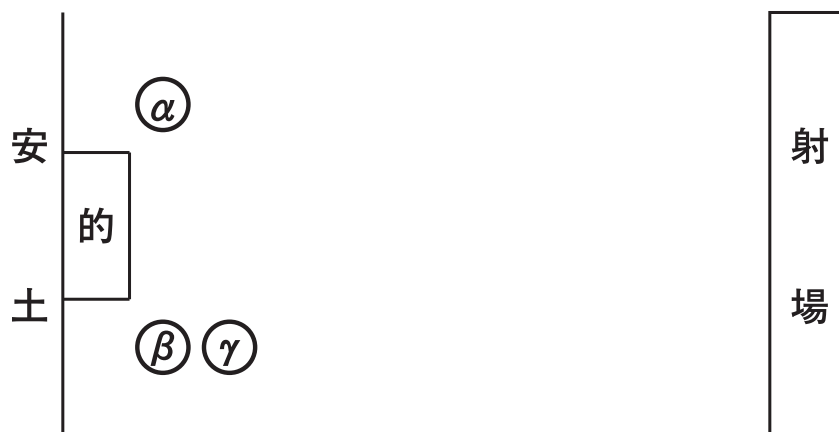
β ： γ が射場に向かったことを確認して、審判員 α と『順位に関係のない矢』を抜き自射場側へ退場する。『順位に関係のない矢』は退場したあとに、的前管理（矢返し）に渡す。

☆ 進行係への矢の受け渡し方法

- ① γ は必要本数を受け取ったのち、身体を正面に捧げ、右手で矢をかざし左手を腰前に置き、矢道の最短距離を通り射場に運び射場進行と向き合う。
- ② 射場進行は γ に揖をする（審判員 γ はしない）。
- ③ γ は最上位にある矢から順に左手人差し指で指し「**2 位・3 位の矢です**」などと、伝えた後、進行係に手渡す（進行係は左手で矢を受け取る）。
- ④ γ は手渡した後、進行係に揖をする（進行係はしない）。
- ⑤ 自射場側へ退場する（第一射場であれば左、第二射場であれば右に退場）。

☆（2・3位決定と4・5位決定などで）2つの的を利用する場合は、係生徒にβの役割を担わせるなどして、同時に判定するが上位の矢の受け渡しを優先するため、射場に運ぶ際は時間差をつける。

配置図



3. その他

- ✓ 3人立五射場展開による大会運営の場合は、仮設看的表示板を第三射場として運営する。
- ✓ 5人立三射場展開による大会運営の場合は、仮設看的表示版を第二射場として運用する。

参考：公益財団法人 全国高等学校体育連盟 弓道競技規則

第11条【的中の判断】

「あたり」「はずれ」の判定は、矢の根が的面を射ぬき、的枠内にとどまっているか否かによる。矢が折れた場合は、矢の根側の状態で判定する。

- (1) 「あたり」は、矢が的枠内にとどまった場合とする。ただし次の場合も的枠内にとどまったものとし「あたり」とする。
 - (ア) 矢が、的枠の内側からの枠の外側に射ぬいた場合。
 - (イ) 矢が、的枠の合せ目または的枠内にとどまった場合。
 - (ウ) 矢が、あたり矢に継矢となった場合。
 - (エ) はずれ矢に接触して、的枠内にとどまった場合。
 - (オ) 的が転び、矢が的枠内にとどまっている場合。
 - (カ) 的枠内にとどまっている矢の一部が、敷に接触している場合。
- (2) 「はずれ」は矢が的枠内にとどまらなかった場合とする。ただし、次の場合も的枠内にとどまらなかったとし「はずれ」とする。
 - (ア) 矢が、的枠の外側からの枠の内側に射ぬいた場合。
 - (イ) 矢が、侯串と的枠の間にとどまった場合。
 - (ウ) あたり矢に接触して、的枠外に出た場合。
 - (エ) 矢が跳ね返り、的枠外に出た場合。
 - (オ) 掃きあたりの場合。
 - (カ) 幕・防矢ネットなど障害物に接触した場合。

【的枠内の判定基準】

的枠内とは、的枠の外側の円内に矢が存在する事をいい、矢の外側の的枠が破断している場合は、的枠内とは考えない。そのためビニールの紙など、強度がある紙のために、的枠が確認できない場合は、的紙を切り開き矢と的枠の状態を確認する必要がある。矢が的枠正面からあたり、鏃の先端が的枠内に残っている場合は、矢の外側の的枠が破断している場合でも「あたり」と判断する。

第12条【的中制の順位】

- (1) 的中制は、的中数の多い方を上位とする。個人競技で同中の場合は、射詰競射による方法と遠近競射による方法がある。
- (2) 同中の場合は、次の方法により順位を決定する。

ア) 個人競技

①射詰競射の場合

- (ア) 継続的中数の多い方を上位とする。必要により直径24cmの星的を使用することができる。
- (イ) 的中を逸した同位者は、遠近競射を行う。ただし、最上位者を決定する場合は、射詰競射を継続してもよい。

②遠近競射の場合

- (ア) 順位は、矢所により判定し、的の中心に近い矢を上位とする。
 - * 矢所とは矢の最初の着点をいう。
 - * はずれた矢は的の中心から矢所までの距離を測る。
 - * 的枠に矢が触れて的が動いた場合は、的を元の位置に戻して距離を測る。
 - * 矢が的すれすれではずれた場合は、矢が的にあたって外れた場合よりも距離が近い場合があるが、たたき矢は標的に密着していると見てたたき矢の方を上位とする。
- (イ) 同じ距離にある矢は、再度競射を行う。
- (ウ) 塚に届いた掃き矢は、全体での下位とし、複数の場合は的の中心からの距離が近い矢を上位とする。
- (エ) 塚に届かなかった掃き矢は、全体での最下位とし、複数の場合は的の中心からの距離が近い矢を上位とする。
- (オ) 筈こぼれなどで射離されなかった矢は、塚に届かなかった矢より下位とする。(複数の場合は同位)
- (カ) 順位は、複数の的前審判委員で判定する。
 - 直径36cmの霞的を使用し、1つの的に対して同じ立位置から1射行射する。
 - ア) なった後に的前管理(看的・矢取)を行うことを原則とする。全的確認時の、看的表示板との確認発声は的審補助が行う。ただし、的前審判の休憩時間には所属校の生徒が的前審判を務めることがある。その場合、第1・2射場側(前射場)、第3・4射場(後射場)に教員各1名は常駐するよう常任委員所属校間で話し合う。また、遠近競射などの判定などには、的前審判全員であたる。

◇射場記録

- 招集から立順票を受け取る。
- 看的表示板に基づいて立順票に記録する。
- 行射終了後、介添に異議の確認を行う。
- 異議がない場合はサインを促し、異議がある場合は確認させたのちサインを促す。

◇記録集計

- 射場記録が立順票に記入した的中記録をPCに入力する。
- 予選及び準決勝など、必要に応じて記録をプリントし、本部・招集・進行・的前・射場記録・放送などに配布し、集合場所のホワイトボードなどに貼付する。

◇放送・計時

- 放送
 - ア) 進行の指示に基づいて放送する。
- 計時
 - ア) 「はじめ」の発声で計時を開始する。
 - イ) 制限時間(3人立6分・5人立7分)に達する30秒前に鈴を1回鳴らす【予鈴】
 - ウ) 制限時間(3人立6分・5人立7分)に達すると同時に鈴を2回鳴らす【本鈴】
 - エ) 競技中に何らかの事情で競技が中断された時は、進行の指示に従い、「やめ」の発声で計時を停止し、「はじめ」の発声で再開する(原則として、弦切れや失などで時間を延長することはない)。

競技終了後の係

◇式典司会 ◦閉会式の呼びかけ放送と司会を行う。

閉会式終了後の係

◇清掃

◦清掃は入賞校が閉会式（表彰）後に行うが、速やかに退館できるよう、各部署が協力して原状回復する。

◦清掃区分

* 選手控室・中央ホール・巻藁練習場・近的場・トイレ（スリッパの整理整頓）

大会実施要項（令和6年度）

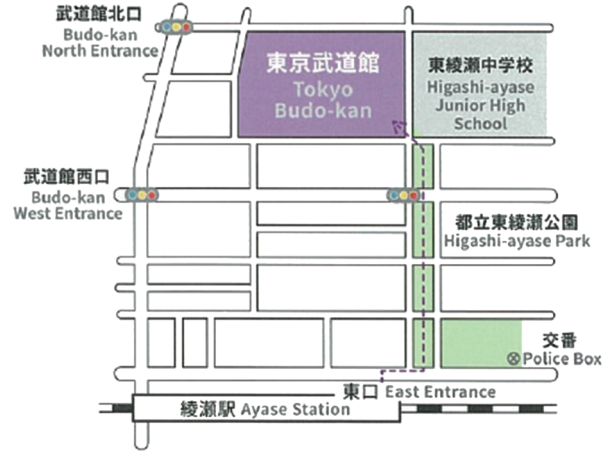
会場

明治神宮 至誠館第二弓道場
〒151-8557
東京都渋谷区代々木神園町1-1
03-5302-5865（第二弓道場直通）



* 明治神宮の弓道場は、数ある弓道場の中でもひととき特別であることを認識し、立入禁止区域には絶対に入らないこと。

東京武道館 弓道場
〒120-0005
東京都足立区綾瀬3-20-1
03-5697-2111



* 綾瀬駅改札口付近は狭く大変混雑するため駅での待ち合わせなどはしないこと。
* 東京武道館へは車道を通らずに東綾瀬公園内を通ること。

入館時間

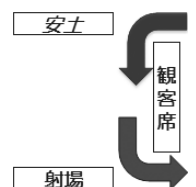
大会運営役員 8:00（変更の場合は大会プログラムにて案内）
出場選手 チームごとに入館（大会プログラムにて案内）

共通項目

1. 主催 東京都高等学校体育連盟
2. 主管 東京都高等学校体育連盟弓道専門部
3. 競技種別 男子の部・女子の部
4. 競技規定 公益財団法人全国高等学校体育連盟「弓道競技規則」
東京都高等学校体育連盟弓道専門部必携「大会運営申し合せ事項」
大会実施要項

5. 注意事項

- ①各校顧問（コーチを含む）と選手及び介添、運営を担う業務分担校の係生徒以外の施設入館は原則認めない。顧問及びコーチ並びに介添生徒・係生徒は「ID」を、選手は「ゼッケン」を必ず着用すること。
- ②靴袋を持参すること。入館の際に、外履きだけを持ち歩いたり下足箱を使用したりせず、靴袋に外履きを入れて保管すること。また、靴袋の取り違いに注意すること。
- ③大会前の打ち合わせには引率者と（必要に応じて）係生徒が**必携と大会プログラムを持って**出席すること。プログラムは各校で必要部数を予め用意すること。
- ④突然の欠席等やむを得ない事由により、構成人数が3人（都総体は5人）に満たない団体での出場が余儀なくされた場合は、大会への参加を認める。ただし、団体構成人数の過半数を割る（3人立に1人で出場・5人立に2人以下で出場）と団体入賞資格はなくなる。
- ⑤個人競技の射詰競射の5本目からは、24cmの星的を使用する。
- ⑥射詰競射・決勝トーナメントには、必ず替矢を用意すること（矢返しは5本目まで行わない）。
- ⑦平日に明治神宮で開催する場合を除き、弓道部員及びID装着者以外の観覧を禁止する。
- ⑧令和6年度は、弓道部員及びID装着者であっても予選の観覧を禁止する。
- ⑨応援は原則として自校の応援に留めるものとし、観覧席入口を安土側、出口を射場側とする。



関東大会東京都予選

1. 期 日 令和6年4月14日(日) 女子1次予選 (明治神宮 至誠館第二弓道場)
令和6年4月21日(日) 男子1次予選 (明治神宮 至誠館第二弓道場)
令和6年4月28日(日) 午前 女子2次予選以降 (東京武道館 弓道場)
午後 男子2次予選以降 (東京武道館 弓道場)
 2. 競技種目 近的競技
 3. 競技種類 団体競技・個人競技
 4. 進 行 1次予選(個人予選を兼ねる)・2次予選(個人決勝を兼ねる)
個人決勝(団体2次予選に進出できなかった個人のみ)・決勝トーナメント
(必要に応じて)代表校決定戦・個人順位決定戦
 5. 競技方法 的中制(立射・直径36cm霞的)
団体競技は個人競技を兼ねる。個人競技としてのみの行射は2次予選に進出できなかった団体に所属する個人予選通過者に対して行う。
(ア)団体競技
 - ①1次予選 各自4射1回(合計12射)
 - 的中数の上位から順次16チームを準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は16チームを超えることもある。
 - 1次予選通過的中数及び(2次予選の)集合時間はX(旧Twitter)などで周知予定。
 - ②2次予選 各自4射1回(合計12射)
 - 1次予選・2次予選の通算的中数上位8チームを決勝トーナメント進出チームとする。
 - 同中により8チームを超える場合は一本競射を行う。
 - トーナメント表作成のための通過順位は的中数の多い順とする(同中の場合は立順番号の若いチームを上位とする)。競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順番号の若いチームを上位とする。
 - ③決勝トーナメント 各自4射1回(合計12射)
 - 各自4射(合計12射)的中数で勝敗を決する。同中の場合は一本競射を行う。
 - ◇1回戦
 - 第1試合:通過順位『1位対8位』 第2試合:通過順位『5位対4位』
 - 第3試合:通過順位『3位対6位』 第4試合:通過順位『7位対2位』
 - ◇準決勝
 - 第1試合:1回戦『第1試合の勝利チーム対第2試合の勝利チーム』
 - 第2試合:1回戦『第3試合の勝利チーム対第4試合の勝利チーム』
 - ◇決勝
 - 準決勝『第1試合の勝利チーム対第2試合の勝利チーム』
(イ)個人競技
 - ①個人予選(1次予選と兼ねる)
 - 3中以上の的中者を決勝進出とする。
 - ②個人決勝(1次予選通過団体に所属する個人予選通過者は2次予選と兼ねる)
 - 個人予選・個人決勝の通算的中数で8位までの順位を決定する。同中の場合は次項③順位決定を行う。
 - ③順位決定
 - 優勝決定は射詰競射にて行い、2～8位決定は遠近競射を行う。
6. 注意事項
(ア)射場区分 3人立×5射場
(イ)制限時間 1立6分以内とする。
 - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
 - ②30秒前に予鈴(1音)を、制限時間超過を確認して本鈴(2音)を鳴らす。
 - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 - ④競射については、制限時間を設けない。
7. 表 彰
(ア)団体競技は上位4チームを表彰(優勝1チーム・2位1チーム・3位2チーム)し、個人競技は上位8名を表彰する。
(イ)団体競技上位3校と個人競技上位5名は関東大会の出場権を得る。
 - ①決勝トーナメント準決勝進出チームが4校の場合は、3位の内、予選から決勝トーナメント準決勝まで(48射)の通算的中数が多い方を出場校とする。同中の場合は一本競射を行う。
 - ②決勝トーナメント準決勝進出チームで関東大会出場校を満たせない場合は、決勝トーナメント1回戦敗退チームの中から、予選から決勝トーナメント1回戦まで(36射)の通算的中数が多い順に出場校を選出する。同中の場合は一本競射を行う。
(ウ)1次予選で3中した選手の人数分を、東京都総合体育大会の学校出場枠(通常は8名)に加える。

東京都総合体育大会弓道競技

1. 期 日 令和6年6月2日(日)・15日(土)
2. 会 場 東京武道館 弓道場
3. 競技種目 近的競技
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 午前 女子・午後 男子
6月2日(日)：団体予選
6月15日(土)：個人予選（個人戦のみの出場者）・団体準決勝
（必要に応じて競射）・個人決勝・団体決勝
（必要に応じて個人順位決定）
6. 競技方法 的中制（立射・直径36cm霰的）
 - (ア)団体競技
 - ①予 選 各自4射1回（合計20射）【個人競技の予選を兼ねる】
 - 的中数の上位から順次8チームを準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。
 - ②団体準決勝 各自4射1回（合計20射）【個人競技の決勝を兼ねる】
 - 予選・準決勝の通算的中数上位4チームを決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は4チームを超えることもある。
 - ③団体決勝 各自4射1回（合計20射）
 - 予選・準決勝・決勝の通算的中数で順位を決定する。
 - ④順位決定 各自1射1回（合計5射）
 - 決勝において、同中の場合は一本競射を行う。
 - (イ)個人競技
団体競技に出場している選手は、団体競技予選の的中数を個人競技予選の的中数に、団体競技準決勝の的中数を個人競技決勝の的中数とする。団体競技予選で3中した選手の所属するチームが準決勝に進出できなかった場合は、下記②【個人競技の決勝】に招集する。
 - ①個人予選 各自4射1回
3中以上の的中者を決勝進出とする。
 - ②個人決勝 各自4射1回
予選・決勝の通算的中数で順位を決定する。
 - ③順位決定 各自1射
決勝において同中の場合は競射を行う。
ただし、全国総体出場権を得る1位及び2位が決定するまでは射詰競射をもって行い、3位から8位の決定は遠近競射をもって行う。
7. 注意事項
 - (ア)射場区分 団体競技：5人立×3射場
個人競技：3人立×5射場
 - (イ)制限時間 1立7分以内とする。
 - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
 - ②30秒前に予鈴（1音）を、制限時間超過を確認して本鈴（2音）を鳴らす。
 - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 - ④競射については、制限時間を設けない。
 - (ウ)選手交代
 - ①団体選手の交代は予選時に登録した補欠選手に限り認める（補欠選手は個人戦出場選手の中から登録すること）。ただし、交代は1回に限る。
 - ②選手交代は、招集までに監督（顧問）が本部に交代届を提出する。

8. 表彰

(ア)団体競技は上位3校を表彰し、個人競技は上位8名を表彰する。

(イ)団体競技優勝校と個人競技上位2名は全国高等学校総合体育大会の出場権を得る。

9. 大会参加費

1,000円/名を原則とするが、団体競技に出場登録する場合は団体構成人数が5名に満たなくても5,000円/チームとする。

(ア)個人競技に出場登録できる人数は、学校出場枠(上限8名)に関東大会東京都予選で与えられた出場資格人数を加えたものとする。

(イ)個人競技に出場する人数による団体競技の出場登録は以下の通りとする。

①個人競技出場者が1～2名の場合

団体競技には出場登録できない。

②個人競技出場者が3～4名の場合

団体競技に出場登録することができる(大会参加費は5,000円)。団体競技に出場登録をせず個人競技のみに出場登録することもできる(大会参加費は出場人数×1,000円)。

③個人競技出場者が5名以上の場合

団体競技に出場登録することができる(大会参加費は団体競技への出場に関わらず出場人数×1,000円)。

東京都個人選手権大会 (関東高等学校弓道個人選手権選抜大会東京都予選)

1. 期 日 令和6年8月21日(水) 女子の部予選

令和6年8月22日(木) 男子の部予選

令和6年8月23日(金) 男女決勝

2. 会 場 明治神宮 至誠館第二弓道場

3. 競技種目 近的競技

4. 競技種類 個人競技

5. 進 行 予選・決勝・順位決定

6. 競技方法 的中制(立射・直径36cm霞的)

①予 選 各自4射1回

◦3中以上の的中者を決勝進出とする。

②決 勝 各自4射1回

◦予選・決勝の通算的中数により順位を決定する。

③順位決定

◦決勝において、同中の場合は競射を行う。ただし、優勝が決定するまでは射詰競射を行い、2位から20位の決定は遠近競射を行う。

7. 注意事項

(ア)射場区分 3人立×5射場

(イ)制限時間 なし(弦音打起しを心掛けること)

8. 表彰

①上位20名を表彰する。

②上位18名(国体選手が出場できない場合は14名)は関東高等学校弓道個人選手権大会の出場権を得る。前年度当該大会で6位以内に入賞した場合はその入賞数を加える(出場を辞退する場合は、予選終了後、速やかに本部まで申し出ること)。

③優勝者に川又杯を授与する。

東京都秋季大会 (兼 全国高等学校弓道選抜大会東京都予選) (兼 関東高等学校弓道選抜大会東京都予選)

1. 期 日 令和6年9月28日(土) 女子の部
令和6年10月6日(日) 男子の部
令和6年10月12日(土) 男女決勝
2. 会 場 東京武道館 弓道場
3. 競技種目 近的競技
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 1次予選(個人予選を兼ねる)・2次予選(個人決勝を兼ねる)
個人決勝(団体2次予選に進出できなかった個人のみ)・団体準決勝
団体決勝・個人順位決定戦
6. 競技方法 的中制(立射・直径36cm霞的)
団体競技は個人競技を兼ねる。個人競技としてのみの行射は2次予選に進出できなかった団体に所属する個人予選通過者に対して行う。

(ア)団体競技

- ①1次予選 各自4射1回(合計12射)
 - 的中数の上位から順次16チームを2次予選進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は16チームを超えることもある。
- ②2次予選 各自4射1回(合計12射)
 - 1次予選・2次予選の通算的中数の上位から順次8チームを準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。
- ③団体準決勝 各自4射1回(合計12射)
 - 1次予選から準決勝までの通算的中数の上位から順次4チームを決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は4チームを超えることもある。
- ④団体決勝 各自4射1回(合計12射)
 - 1次予選から決勝までの通算的中数で3位までの順位を決定する。同中チームがある場合は一本競射を行う。

(イ)個人競技

- ①個人予選(1次予選と兼ねる)
 - 3中以上の的中者を決勝進出とする。
- ②個人決勝(1次予選通過団体に所属する個人予選通過者は2次予選と兼ねる)
 - 個人予選・個人決勝の通算的中数で8位までの順位を決定する。同中の場合は次項③順位決定を行う。
- ③同中競射
 - 全国選抜大会出場権が得られる1・2位決定までは射詰競射を行い、3～8位決定は遠近競射を行う。

7. 注意事項

- (ア)射場区分 3人立×5射場
- (イ)制限時間 1立6分以内とする。
 - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
 - ②30秒前に予鈴(1音)を、制限時間超過を確認して本鈴(2音)を鳴らす。
 - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 - ④競射については、制限時間を設けない。

8. 表 彰

- (ア)団体競技は上位3チームを表彰し、個人競技は上位8名を表彰する。
- (イ)団体競技優勝校と個人競技優勝・準優勝者は全国高等学校弓道選抜大会の出場権を得る。また、団体競技上位3校と個人競技上位5名は関東高等学校弓道選抜大会の出場権を得る。ただし、3年生及び3年生が含まれるチームは代表権を得ることができない。

東京都新人大会（兼 東日本高等学校弓道大会東京都予選）

1. 期 日 令和7年1月11日(土) 女子の部
令和7年1月18日(土) 男子の部
2. 会 場 東京武道館 弓道場
3. 競技種目 近的競技
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 団体予選（個人戦を兼ねる）・団体準決勝・団体決勝トーナメント
（必要に応じて）推薦校決定戦・個人順位決定戦
6. 競技方法 的中制（立射・直径36cm霞的）
 - (ア)団体競技
 - ①1次予選 各自4射1回（合計12射）
◦関東大会東京都予選の1次予選に準ずる。
 - ②2次予選 各自4射1回（合計12射）
◦関東大会東京都予選の2次予選に準ずる。
 - ③決勝トーナメント 各自4射1回（合計12射）
◦関東大会東京都予選の決勝トーナメントに準ずる。
 - (イ)個人競技
 - ①団体競技1次予選4射の成績をもって、個人競技の成績とする（ただし、入賞は皆中者とする）。
 - ②優勝決定は射詰競射を行い、2位から5位決定は遠近競射を行う。
7. 注意事項
 - (ア)射場区分 3人立×5射場
 - (イ)制限時間 1立6分以内とする。
 - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
 - ②30秒前に予鈴（1音）を、制限時間超過を確認して本鈴（2音）を鳴らす。
 - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 - ④競射については、制限時間を設けない。
8. 表 彰
 - (ア)団体競技は上位4チーム（優勝1チーム・2位1チーム・3位2チーム）を表彰し、個人競技は上位5名を表彰する。
 - (イ)団体競技上位2校（関東開催は3校）を東日本高等学校弓道大会に推薦する。
 - ①決勝トーナメントの決勝進出チームで東日本大会推薦校数を満たせない場合は、決勝トーナメント準決勝進出チームの中から、予選から決勝トーナメント準決勝まで（48射）の通算的中数が多い順に出場校を選出する。同中の場合は一本競射を行う。
 - ②①で満たせない場合は、決勝トーナメント進出チームの中から、予選から決勝トーナメント1回戦まで（36射）の通算的中数が多い順とし、それも同中の場合は一本競射を行う。
 - ③決勝トーナメント進出チームで東日本大会推薦校を満たせない場合は、決勝トーナメント進出をかけた一本競射での敗退チームから、通過に近い順に出場校を選出する。次いで、予選・準決勝の通算的中数の多い順に出場校を選出し、同中の場合は一本競射を行う。

東京都遠的大会（兼 紫灘旗全国高校遠的弓道大会東京都予選）

1. 期 日 令和7年2月15日(土)
2. 会 場 明治神宮 至誠館第二弓道場
3. 競技種目 遠的競技（近的競技に変更する場合有り）
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 団体予選（個人予選を兼ねる）・団体準決勝（個人決勝を兼ねる）
団体決勝・個人決勝（団体準決勝に進出できなかった個人のみ）・個人順位決定
6. 競技方法 的中制（立射・直径100cm霰的）
団体競技は個人競技を兼ねる。個人競技としてのみの行射は団体準決勝に進出できなかった団体に所属する個人予選通過者に対して行う。
(ア)団体競技
 - ①団体予選 各自4射1回（合計12射）
 - 的中数の上位から順次8チームを団体準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。
 - ②団体準決勝 各自4射1回（合計12射）
 - 予選から準決勝まで（24射）の通算的中数の上位から順次4チームを決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は4チームを超えることもある。
 - ③団体決勝 各自4射1回（合計12射）
 - 予選から決勝まで（36射）の通算的中数で3位までの順位を決定する。同中チームがある場合は一本競射を行う。
(イ)個人競技
 - ①個人予選（1次予選と兼ねる）
 - 3中以上（男子）・2中以上（女子）の的中者を決勝進出とする。
 - ②個人決勝（予選通過団体に所属する個人予選通過者は団体準決勝と兼ねる）
 - 個人予選・個人決勝の通算的中数で5位までの順位を決定する。同中の場合は次項③順位決定を行う。
 - ③順位決定
 - 優勝決定は射詰競射を行い、2位から5位決定は遠近競射を行う。
7. 注意事項
(ア)射場区分 3人立×3射場
(イ)制限時間 1立6分以内とする。
 - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
 - ②30秒前に予鈴（1音）を、制限時間超過を確認して本鈴（2音）を鳴らす。
 - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 - ④競射については、制限時間を設けない。
(ウ)選手交代
 - ①団体選手の交代は補欠に登録されている選手に限り認める。ただし、交代は1回に限る。
 - ②選手交代は、招集までに監督（顧問）が本部に交代届を提出する。
(エ)その他
 - ①遠的矢については、当日に本専門部より貸し出しを行う。
 - ②近的競技に変更した場合に備えて近的矢も準備する。
8. 表 彰
(ア)団体競技は上位3校を表彰し、個人競技は上位5名を表彰する。
(イ)団体競技上位2校を紫灘旗全国高校遠的弓道大会に推薦する。

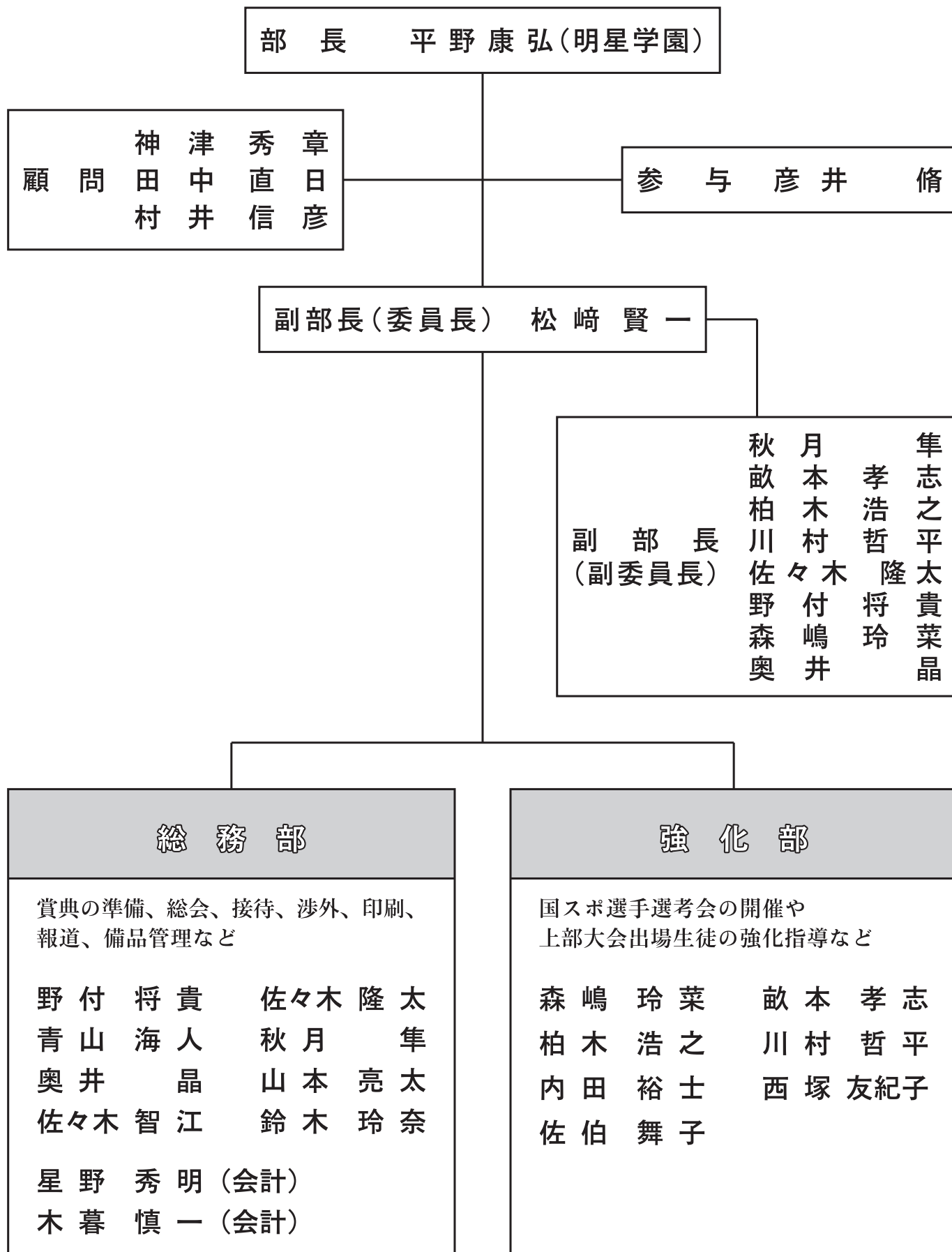
令和6(2024)年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 役員表

部 長	明星学園高等学校	平 野 康 弘	
顧 問		神 津 秀 章	田 中 直 彦
		村 井 信 彦	井 脩 脩
参 与		彦 井 脩	
副 部 長 (委 員 長)	都立翔陽高等学校 (高体連常任理事)	松 崎 賢 一	
副 部 長 (副 委 員 長)	都立美原高等学校 (都高体連研究部員)	秋 月 隼 志	都立芦花高等学校
	都立東高等学校	秋 月 孝 浩	都立井草高等学校
	大成高等学校	柏 木 哲 平	都立桜修館中等教育学校 (都連担当)
	都立桜修館中等教育学校 (都連担当)	川 村 隆 太	吉祥女子高等学校
	吉祥女子高等学校	佐々木 隆 太	東海大学菅生高等学校
	東海大学菅生高等学校	野 付 将 貴	
		森 嶋 玲 菜	
		奥 井 晶 晶	
常任委員	都立八王子東高等学校	青 山 海 人	都立桜修館中等教育学校
	都立桜修館中等教育学校	青 内 田 裕 士	(会 計)
	東京女子学院高等学校	木 暮 慎 一	(会 計)
	錦城高等学校	西 塚 友 紀	
	文化学園大学杉並高等学校	星 野 秀 明	
	日本体育大学桜華高等学校	佐 伯 舞 子	
	都立小岩高等学校	山 本 亮 太	
	都立立川国際中等教育学校	佐々木 智 玲	
	都立三田高等学校	鈴 木 玲 奈	
会計監査	東海大学附属高輪台高等学校	村 上 優 介	

問い合わせ先

弓道専門部事務局	〒193-0944 東京都八王子市館町1097-136 都立翔陽高等学校内 TEL 042-663-3318 FAX 042-663-3362
東京都高等学校体育連盟事務局	〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第二本庁舎15階 TEL 03-5320-7470 FAX 03-5388-1733
全日本弓道連盟	〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE TEL 03-6447-2980 FAX 03-6447-2981
明治神宮至誠館	〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1 TEL 03-3379-9137 (事務局)・03-5302-5865 (第二弓道場)
東京武道館	〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1 TEL 03-5697-2111
選手登録関係	秋 月 隼 (都立美原高等学校) Jun_Akiduki@education.metro.tokyo.jp
国スポ選手選考会関係	森 嶋 玲 菜 (吉祥女子高等学校) rmorishima@kichijo-joshi.ed.jp
大会申込関係	野 付 将 貴 (都立桜修館中等教育学校) Masataka_Notsuki@education.metro.tokyo.jp
ID・プログラム関係	佐々木 隆 太 (大成高等学校) r.sasaki@taisei.ed.jp
大会参加費等払込口座	東京都高等学校体育連盟弓道専門部 ゆうちょ銀行 02 東京 00130-4-707395

令和 6 (2024) 年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 組織図



令和6(2024)年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部加盟校一覧

No.	設立	学 校 名	男女	〒	住 所	T E L	F A X
1	都立	両国高等学校	男女	130-0022	墨田区江東橋1-7-14	03-3631-1815	03-3846-6682
2	都立	八潮高等学校	男女	140-0002	品川区東品川3-27-22	03-3471-7384	03-3472-9840
3	都立	三田高等学校	男女	108-0073	港区三田1-4-46	03-3453-1991	03-3453-2899
4	都立	昭和高等学校	男女	196-0033	昭島市東町2-3-21	042-541-0222	042-546-0150
5	都立	第五商業高等学校	男女	186-0004	国立市中3-4	042-572-0132	042-573-8794
6	都立	三鷹中等教育学校	男女	181-0004	三鷹市新川6-21-21	0422-46-3311	0422-49-8429
7	都立	江戸川高等学校	男女	132-0031	江戸川区松島2-38-1	03-3651-0297	03-3674-0970
8	国立	東京学芸大学附属高等学校	男女	154-0002	世田谷区下馬4-1-5	03-3421-5151	03-3421-5152
9	私立	早稲田大学高等学院	男	177-0044	練馬区上石神井3-31-1	03-5991-4165	03-3928-4110
10	私立	日本体育大学荏原高等学校	男女	146-8588	大田区池上8-26-1	03-3759-3291	03-3759-3614
11	私立	田園調布学園高等部	男女	158-8512	世田谷区東玉川2-21-8	03-3727-6121	03-3727-2984
12	私立	目黒学院高等学校	男女	153-8631	目黒区中目黒1-1-50	03-3711-6556	03-3713-7448
13	私立	國學院高等学校	男女	150-0001	渋谷区神宮前2-2-3	03-3403-2331	03-3403-1320
14	私立	城北学園城北高等学校	男	174-8711	板橋区東新町2-28-1	03-3956-3157	03-3956-9779
15	私立	國學院大学久我山高等学校	男女	168-0082	杉並区久我山1-9-1	03-3334-1151	03-3335-1233
16	私立	法政大学高等学校	男女	181-0002	三鷹市牟礼4-3-1	0422-79-6230	0422-79-6260
17	都立	日比谷高等学校	男女	100-0014	千代田区永田町2-16-1	03-3581-0808	03-3597-8331
18	私立	頌栄女子学院高等学校	女	108-0071	港区白金台2-26-5	03-3441-2005	03-3441-4043
19	私立	東京都立大学等々力高等学校	男女	158-0082	世田谷区等々力8-10-1	03-5962-0104	03-3701-2197
20	私立	早稲田高等学校	男	162-8654	新宿区馬場下町62	03-3202-7674	03-3202-7692
21	私立	日本大学鶴ヶ丘高等学校	男女	168-0063	杉並区和泉2-26-12	03-3322-7521	03-3325-0203
22	都立	小岩高等学校	男女	133-0044	江戸川区本一色3-10-1	03-3651-2250	03-3674-1405
23	私立	駒沢学園女子高等学校	女	206-8511	稲城市坂浜238	042-331-1911	042-350-7188
24	都立	芝商業高等学校	男女	105-0022	港区海岸1-8-25	03-3431-0760	03-3435-0240
25	私立	佼成学園高等学校	男	166-0012	杉並区和田2-6-29	03-3381-7227	03-3380-5656
26	私立	海城高等学校	男	169-0072	新宿区大久保3-6-1	03-3209-5880	03-3209-6990
27	私立	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	男女	185-8505	国分寺市本町1-2-1	042-300-2121	042-300-1123
28	私立	錦城高等学校	男女	187-0001	小平市大沼町5-3-7	042-341-0741	042-345-4255
29	都立	立川国際中等教育学校	男女	190-0012	立川市曙町3-29-37	042-524-3903	042-527-1829
30	私立	東海大学付属高輪台高等学校	男女	108-0074	港区高輪2-2-16	03-3448-4011	03-3448-4020
31	私立	玉川学園高等部	男女	194-8610	町田市玉川学園6-1-1	042-739-8533	042-739-8559
32	私立	立正大学付属立正高等学校	男女	143-8557	大田区西馬込1-5-1	03-6303-7683	03-3775-1356
33	私立	東京成徳大学高等学校	男女	114-0002	北区王子6-7-14	03-3911-5196	03-3911-2447
34	私立	文化学園大学杉並高等学校	男女	166-0004	杉並区阿佐ヶ谷南3-48-16	03-3392-6636	03-3391-8272
35	私立	日本体育大学桜華高等学校	女	189-0024	東村山市富士見町2-5-1	042-391-4133	042-392-6424
36	都立	東高等学校	男女	136-0074	江東区東砂7-19-24	03-3644-7176	03-3615-7463
37	私立	芝浦工業大学附属高等学校	男女	135-8139	江東区豊洲6-2-7	03-3520-8501	03-3520-8504
38	私立	吉祥女子高等学校	女	180-0002	武蔵野市吉祥寺東町4-12-20	0422-22-8117	0422-22-9752
39	私立	大東学園高等学校(休会中)	男女	156-0055	世田谷区船橋7-22-1	03-3483-1901	03-3483-4105
40	私立	目白研心高等学校	男女	161-8522	新宿区中落合4-31-1	03-5996-3133	03-5996-3066
41	私立	東海大学菅生高等学校	男女	197-0801	あきる野市菅生1817	042-559-2200	042-532-7072
42	都立	秋留台高等学校	男女	197-0812	あきる野市平沢153-4	042-559-6821	042-558-3164
43	私立	品川女子学院高等学校	女	140-8707	品川区北品川3-3-12	03-3474-4048	03-3471-4076
44	国立	筑波大学附属高等学校	男女	112-0012	文京区大塚1-9-1	03-3941-7176	03-3943-0848
45	私立	慶應義塾女子高等学校	女	108-0073	港区三田2-17-23	03-5427-1674	03-5427-1675
46	私立	駒場学園高等学校	男女	155-0032	世田谷区代沢1-23-8	03-3413-5561	03-3795-9068
47	私立	多摩大学目黒高等学校	男女	153-0064	目黒区下目黒4-10-24	03-3714-2661	03-3714-2632
48	私立	東京女子学院高等学校	女	177-0051	練馬区関町北4-16-11	03-3920-5151	03-5991-0632
49	私立	科学技術学園高等学校	男	157-8562	世田谷区成城1-11-1	03-5494-7711	03-5494-7720
50	都立	竹台高等学校	男女	116-0014	荒川区東日暮里5-14-1	03-3891-1515	03-3891-1518
51	私立	東京実業高等学校	男女	144-0051	大田区西蒲田8-18-1	03-3732-4481	03-3732-4456
52	都立	練馬高等学校	男女	179-8908	練馬区春日町4-28-25	03-3990-8643	03-3926-8373
53	私立	桜美林高等学校	男女	194-0294	町田市常盤町3758	042-797-2667	042-797-3432
54	都立	晴海総合高等学校	男女	104-0053	中央区晴海1-2-1	03-3531-5021	03-3531-5024
55	都立	桐ヶ丘高等学校(休会中)	男女	115-0052	北区赤羽北3-5-22	03-3906-2173	03-3909-4739
56	都立	井草高等学校	男女	177-0044	練馬区上石神井2-2-43	03-3920-0319	03-5991-0757
57	都立	つばき総合高等学校	男女	144-8533	大田区本羽田3-11-5	03-5737-0151	03-5737-0154
58	都立	芦花高等学校	男女	157-0063	世田谷区粕谷3-8-1	03-5315-3322	03-3305-8180
59	都立	新宿高等学校(休会中)	男女	160-0014	新宿区内藤町11-4	03-3354-7411	03-3225-4402
60	都立	杉並総合高等学校	男女	168-0073	杉並区下高井戸5-17-1	03-3303-1003	03-3303-7751
61	都立	翔陽高等学校	男女	193-0944	八王子市館町1097-136	042-663-3318	042-663-3362
62	私立	明星学園高等学校	男女	181-0002	三鷹市牟礼4-15-22	0422-48-6221	0422-41-6091
63	私立	開成高等学校	男	116-0013	荒川区西日暮里4-2-4	03-3822-0743	03-3822-4558
64	都立	美原高等学校	男女	143-0012	大田区大森東1-33-1	03-3764-3883	03-3764-3854
65	私立	新渡戸文化高等学校	男女	164-8638	中野区本町6-38-1	03-3381-0408	03-3381-0508
66	私立	大成高等学校	男女	181-0012	三鷹市上連雀6-7-5	0422-43-3196	0422-47-6302
67	都立	葛飾総合高等学校	男女	125-0035	葛飾区南水元4-21-1	03-3607-3878	03-3826-1923
68	都立	桜修館中等教育学校	男女	152-0023	目黒区八雲1-1-2	03-3723-9970	03-3723-9980
69	私立	郁文館高等学校	男女	113-0023	文京区向丘2-19-1	03-3828-2206	03-3828-1261
70	私立	宝仙学園高等学校	男女	164-8628	中野区中央2-28-3	03-3371-7109	03-3371-7144
71	都立	世田谷総合高等学校	男女	157-0076	世田谷区岡本2-9-1	03-3700-4771	03-3700-0866
72	私立	駿台学園高等学校	男女	114-0002	北区王子6-1-10	03-3913-5735	03-3912-2810
73	私立	昭和第一高等学校	男女	113-0033	文京区本郷1-2-15	03-3811-0636	03-3814-7985
74	都立	瑞穂農芸高等学校	男女	190-1211	西多摩郡瑞穂町石畑2027	042-557-0142	042-556-2439
75	都立	八王子東高等学校	男女	192-8568	八王子市高倉町68-1	042-644-6996	042-642-2641
76	都立	青梅総合高等学校	男女	198-0041	青梅市勝沼1-60-1	0428-22-7604	0428-22-7624
77	都立	忍岡高等学校	男女	111-0053	台東区浅草橋5-1-24	03-3863-3131	03-3863-3153



令和6(2024)年度

大会立順票

立順番号

学校番号	性別	学校名						
		監督名						
		チーム名	A	B	C	D	E	F

顧問印	
-----	--

立	氏名	学年							備考
1									
2									
3									
4									
5									
補									
			チーム合計		チーム合計		チーム合計		
確認サイン									

注意 ①東京都総合体育大会弓道競技 個人の部・東京都個人選手権大会は一人1枚使用すること
 ②顧問の捺印のないものは無効 東京都高等学校体育連盟弓道専門部



令和6(2024)年度

大会立順票

立順番号

学校番号	性別	学校名						
		監督名						
		チーム名	A	B	C	D	E	F

顧問印	
-----	--

立	氏名	学年							備考
1									
2									
3									
4									
5									
補									
			チーム合計		チーム合計		チーム合計		
確認サイン									

注意 ①東京都総合体育大会弓道競技 個人の部・東京都個人選手権大会は一人1枚使用すること
 ②顧問の捺印のないものは無効 東京都高等学校体育連盟弓道専門部

20 年 月 日

東京都高等学校体育連盟弓道専門部 委員長 殿

選手交代届

学校番号 _____

学校名 _____

監督名 _____

(男子・女子) (該当する箇所に○印をつけて下さい)

立順番号 () 番

次の通り、選手を交代します。(交代のある選手のみ記入して下さい)

立	交代前	交代後
一		
二		
三		
四		
五		

提出期限：招集前まで

提出先：本部